

北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川指定管理者の候補者の選定について

1 公の施設の概要		名 称：北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川 所 在 地：深川市音江町2丁目7番1号 設置目的：青少年の集団宿泊活動、自然体験活動その他の体験活動を支援することにより青少年の健全な育成を図るとともに、道民の生涯学習を促進する		担当課（室） 教育庁生涯学習推進局社会教育課 （社会教育施設係） 直通：011-204-5743 代表：011-231-4111（内線35-515）		
2	申請期間	令和3年10月25日（月）～12月13日（月）				
公募概要	申請条件	指定期間（予定） 令和4年4月1日～令和9年3月31日				
	業務の範囲	(1) 青少年の集団宿泊活動、自然体験活動その他の体験活動及び道民の生涯学習活動に関する事業を企画し、及び開催すること。 (2) 青少年の集団宿泊活動、自然体験活動その他の体験活動及び道民の生涯学習活動に関し、体験活動支援施設の施設及び設備を利用に供し、並びに必要な指導又は助言を行うこと。 (3) 青少年の集団宿泊活動、自然体験活動その他の体験活動及び道民の生涯学習活動に関し、調査研究を行い、資料を収集し、及びこれらの結果を利用に供すること。 (4) その他設置の目的を達成するために必要な事業				
	利用料金制度	平成19年度導入				
	負担金限度額	309,435,000円（5か年）				
	審査基準等	別紙「北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川指定管理者候補者決定基準」（公募要項別添7）のとおり				
3	申請結果	申請者数 2団体 うち株式会社 1団体、公益財団法人 1団体（選定から除外）				
選定委員会	名 称	北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川指定管理者候補者選定委員会				
	設置要綱	別紙「北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル深川指定管理者候補者選定委員会運営要領」のとおり				
	委 員 会 （令和4年2月24日交代）	区 分	氏 名	所 属	備 考	
		委員長	武田 亘明	札幌市立大学 准教授	学識経験者	
		副委員長	亀田 慎司	下川町 SDGs推進戦略室長	学識経験者	
		委員	山本 強	北海道大学産学・地域協働推進機構 特任教授	学識経験者	
		委員	片山 めぐみ	札幌市立大学 講師	学識経験者	
	委員	西牧 孝徳	北海道札幌あいの里高等支援学校長	学識経験者		
	開催状況	区 分	開催日時・場所	議 事	出席率	
		第1回	令和3年10月18日（月） ※オンライン開催	申請資格、選定基準等の審議	80%	
第2回		令和3年12月21日（火） ※オンライン開催	申請資格の確認、申請者へのヒアリング、必須項目審査、加点項目審査、最適な候補者の決定	100%		
第3回		令和4年3月1日（火） ※オンライン開催	候補者の選定を取り消したことにより他の申請者から候補者として最適な団体を決定	100%		
審査の経過		・ 令和3年10月18日開催の第1回選定委員会において、申請資格、選定の基準及び方法について検討を行った。 ・ 10月25日から公募を開始し、締切までに2団体から申請があり、事務局において申請資格（形式的要件）等に係る事前審査を行った上で、12月14日に申請書類等の副本を各委員に送付し、事前の確認及び審査を依頼した。 ・ 12月21日開催の第2回選定委員会において、申請資格（形式的要件）等に係る審査を行い、その後、申請者に対するヒアリングと申請者からの説明を行った。引き続き必須項目審査及び加点項目審査を実施し、候補者決定基準に基づく採点を行い、申請のあった団体を最適な候補者として決定した。 ・ 第2回選定委員会の審査を踏まえ選定した候補者について、道教委職員による不正な関与が判明したため選定を取り消したことから、3月1日開催の第3回選定委員会において、他の申請者から候補者として最適な団体を決定した。				
採点結果		別記のとおり				
審査の結果		指定管理者の候補者 株式会社スポーツピア 代表取締役社長 安田 光則				
選定理由		株式会社スポーツピアは、現指定管理者としての実績に基づいた提案をしており、安定的な経営を期待できることなどが評価された。				
学識経験者委員の主な意見（又は総評）		・ SDGsの取組やアクティビティの実績があり、安定した経営が評価できる。 ・ 利用率が高く、好立地など好条件なので、新しい提案が欲しかった。				

※本書は、選定委員会における審議経過を示したものであり、最終的には、北海道議会の議決をいただいた後、正式に指定管理者を指定する予定です。

採 点 結 果

■施設名：北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル深川

審 査 項 目	配点	委員	指定管理者の候補者	候補者以外の団体（成績順）		
			株式会社 スポーツピア (提案額：309,435千円)			
1 正当な理由がない限り住民が施設を利用することを拒まないものであること及び住民が施設を利用することについて不当な差別的取扱いをしないものであること。	25	(小計)	23.75点	0.00点	0.00点	0.00点
① 施設の利用に当たり、平等な利用が確保できるよう、基本的な運営方針が掲げられており、利用料金や食事料金の設定が適切になされていること	5	委員 1	5.00点			
		委員 2	3.75点			
		委員 3	5.00点			
		委員 4	5.00点			
		委員 5	5.00点			
2 業務計画書の内容が、施設の効用を最大限に発揮させるものであること。	225	(小計)	197.50点	0.00点	0.00点	0.00点
① 利用拡大のための具体的な方策が明確で実効性があること ② 利用者の満足度を高めるための施設管理の具体的な方策が明確で実効性があること ③ 安全対策や危機管理に関する体制や具体的な方策が明確で実効性があること ④ 社会教育主事との連携・協力の内容や具体的な方策が明確で実効性があること ⑤ 地域住民や関係団体等との協働体制が計画され、施設運営の改善のための効果が期待できること	45	委員 1	37.50点			
		委員 2	45.00点			
		委員 3	33.75点			
		委員 4	38.75点			
		委員 5	42.50点			
3 業務計画書に沿った管理を安定して行う人員、資産その他の能力を有していること。	50	(小計)	48.75点	0.00点	0.00点	0.00点
① 業務遂行に必要な人員が配置され、組織体制や人材育成方策が明確であること ② 業務処理を安定的に行うため、類似施設の運営実績や施設運営に必要なノウハウを有していること	10	委員 1	10.00点			
		委員 2	10.00点			
		委員 3	10.00点			
		委員 4	8.75点			
		委員 5	10.00点			
4 収支計画書の内容が、施設の管理経費の縮減が図られるものであること。	150	(小計)	147.50点	0.00点	0.00点	0.00点
① 教育委員会が支払う管理費用の総額が安価であること ② 収支計画書における積算の根拠が明確であり、コストの削減が配慮されていること	30	委員 1	30.00点			
		委員 2	30.00点			
		委員 3	28.75点			
		委員 4	28.75点			
		委員 5	30.00点			
5 （施設の性質又は目的に応じた加点要素）	50	(小計)	45.00点	0.00点	0.00点	0.00点
① 利用者のニーズや時代の要請に対応した事業が実施され、健全な青少年の育成及び生涯学習の振興が図られるものであること	10	委員 1	10.00点			
		委員 2	10.00点			
		委員 3	7.50点			
		委員 4	10.00点			
		委員 5	7.50点			
各委員合計得点	100	委員 1	92.50点	0.00点	0.00点	0.00点
		委員 2	98.75点	0.00点	0.00点	0.00点
		委員 3	85.00点	0.00点	0.00点	0.00点
		委員 4	91.25点	0.00点	0.00点	0.00点
		委員 5	95.00点	0.00点	0.00点	0.00点
最高得点をつけた委員数			5人	0人	0人	0人
全委員合計得点（500点満点）＊						

＊「全委員合計得点」欄は「最高得点をつけた委員数」が同数の場合に限り表記する。